

日 時：平成 30 年 8 月 23 日（木）18 時 30 分 ～20 時 00 分

場 所：尾上総合支所

対象地区：尾上

参加人数：13 名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○寿酒造裏の藪について</p> <p>（市民から）</p> <p>藪から畑にアメリカシロヒトリが飛んでくるが、対応が難しいため、市の方で対応をしてもらえないか。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・土地の所有者に対しての啓蒙、呼びかけをしようと考えている。個人の財産であるため難しい部分もあるが、市全体の取り組みとしてやっていきたい。・空地などで放置された箇所については、情報提供があれば、市で所有者を特定して注意喚起をしている。
<p>○大十食堂交差点について</p> <p>（市民から）</p> <p>この場所では事故が多い。街路灯があるがあまり目立たないため、反射板を貼るなど対応をして欲しい。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・現場を見て対応をしたい。
<p>○尾上駅前通りの整備について</p> <p>（市民から）</p> <p>側溝が古いままになっているうえ、雑草がたくさん生えているため整備してもらいたい。</p> <p>（市から）</p> <ul style="list-style-type: none">・現場は確認済みである。先に通学路のある金田地区の方から実施し、この区間はその後になる。以前から要望が出ているため今後対応していきたい。
<p>○県道尾上日沼線の側溝整備について</p> <p>（市民から）</p> <p>県道尾上日沼線は、側溝の水が流れていない、草が生えている、汚水が溜まり異臭を放っているなど問題がある。下水未加入世帯が生活用水を側溝へ流していることもあり、夏</p>

場は特に異臭を放っている。下水道加入促進を町会で行うのは難しいため、市として何らかの対策を考えてもらいたい。さらに、雪対策のため側溝に雪を流せるようにして欲しい。

(市から)

- ・下水の加入促進については、市としても以前から実施しており、県内では加入率が良い方である。
- ・下水の加入促進が進まない理由は、改装に費用がかかるためである。市では費用の助成などはしていないが、相談にのることはできる。
- ・雪に対応した側溝整備を行いたい、そのためには水源や流末を確保することが必要となる。また、維持管理のため地域の皆さんに協力して頂く必要もある。場所を特定し、設置が可能か検討はしてみる。

○市役所からの文書について

(市民から)

市役所からの文書に担当者名を入れて欲しい。市役所に連絡しても担当者になかなか繋がらないことがある。できれば同じ苗字の人もいるのでフルネームを記載して欲しい。

(市から)

- ・送付文書にはフルネームを記載するよう周知する。

○地籍調査について

(市民から)

地籍調査の印があちこちにあるがまだ終了していないのか。終了していないのであればいつまでかかるのか。また、調査の結果、登記簿の面積が変更することはあるのか。

(市から)

- ・昨年までに、県道大鰐浪岡線の東側が終了しており、今年から西側の調査を行っている。
- ・登記簿の面積が変更することはある。
- ・金田小学校付近の道路を県の事業で拡幅する際、誤差が多く、買収が進まなかったことから再度調査が始まった。
- ・その後、尾上地域全体で多くのずれがあることが判明したため、尾上地域全域のやり直しをかけている状況である。
- ・調査は、平成39年度までかかる予定である。

(市民から)

何とのずれが生じているのか。公図がきちんとしたものではないのか。

(市から)

- ・現在の状況と法務局に登録された図面とのずれが多いところでは何メートルもある。国土調査で測量したものが登記されているが、それがずれている。
- ・当時はGPSがなく、平板測量で実施していた。精度があまり高くなかったためずれが生じたものと思われる。
- ・昭和40年代に実施された国土調査では、「分限図」と呼ばれるものを元に調査した。互いの境界は確定しているはずなので、その境界が動くわけではない。

(市民から)

地籍調査をして合筆、地目変更が必要となった場合、費用は市で負担してくれるのか。また、調査時に打たれた鉾が取れた場合はどうなるのか。

(市から)

- ・地籍調査をして合筆、地目変更が必要となった場合は市で対応している。
- ・鉾の管理の必要はない。確定した時点で図面には落としているため、鉾がなくなっても問題ない。

○道路整備について

(市民から)

駅前通りの裏(海洋センターから信号を左に曲がった通り)の道路の整備をしてほしい。また、私道であるが、雪解け水で水たまりができるため、市で簡易舗装でもいいのでしてもらえないか。

(市から)

- ・道路整備については、現場を確認したうえで対応する。ただし、他にも道路整備の要望があるので、町会の方で優先順位をつけてもらいたい。
- ・私道を市で舗装して、代が変わって後々問題になってもいけないので対応は難しいと思う。

○新庁舎について

(市民から)

役所のデザインは、「重厚で落ち着いたもの」が一般的だと思うが、市新庁舎については、田園地帯の平川市にはそぐわないような宇宙船のようなデザインであると感じる。また、新庁舎に約52億円、新体育館に約35億円かけるのは市の規模に見合ったものなのか。

(市から)

- ・新庁舎のデザインはプロポーザル方式で12の応募があった中から、選定委員が5つのデザインを選び、プレゼンテーション実施後に選ばれている。

- ・市の実質公債比率は、昨年度13.8%、平成35年で5.1%まで下がることとなる。これは、25%を越えると国の指導が入る。また、7割が国からの交付税でまかなわれる。
- ・市の基金は約100億円あるが、今回の事業が終わった後に70億円ほどになる。甚大な被害をもたらした平成3年の台風19号の際に20億円ほど復旧にかかっているため、基金は最低でも40億円は残しておきたいと考えている。
- ・償還金が今後減っていくことになるため、大災害があったとしても、現状では大丈夫だと考えている。

(市民から)

建物が大きくなると維持管理費がかかるのではないかと。また、どのような雪対策を考えているのか。

(市から)

- ・雪は落ちないような設計である。
- ・冷暖房については、約20度の地下水を活用し、更に冬は地下水を冷暖房に使った後、駐車場の一部融雪にも使う。新庁舎は省エネ建築物にすることで、維持管理費が低減できるようにしている。
- ・現庁舎も老朽化することで維持管理費が増えていく。新庁舎にしたことで維持管理費が増えるということではない。

(市民から)

グラウンドフロアから1階に行くのは階段等を使うのか。

(市から)

- ・グラウンドフロアは、病院跡地と現庁舎の間にある段差を活用する。1階にはエレベーターと階段で行くことができる。

○尾上庁舎の今後の利活用について

(市民から)

新庁舎ができれば尾上庁舎のすべての部署が移動することとなるのか。

(市から)

- ・市民生活課は残るが、教育委員会、経済部、建設部などは新しい庁舎に移る。

(市民から)

空きスペースを安く貸し出すことはできないか。

(市から)

- ・新庁舎には平成33年7月くらいに移る。展示スペースを増やしてほしい、図書館を大きくしてほしいなどの意見が出ているので、これらをもとに今後活用方法を決めていきたい。